

基礎医学コース

| 専門基礎科目 | 生理系科目 |
| 病理系科目 | 社会医学系科目 |

人体の基本構造を学び、
医学の基礎を培います



3年次 病理学実習2
「皮膚・血液」

コースの特色

病気は正常の変化したものと捉えられ、病気の理解は正常の理解に支えられます。

このコースは、2年次1学期から3年次1学期までの1年半に及びます。まず、人体の正常な構造と機能を学び(解剖学、組織学、画像解剖学、生理学)、生命現象を分子・遺伝子レベルから理解します(生化学、薬理学)。また、正常から病気に至る基本的プロセスを学びます(微生物学、免疫学、病理学、基礎応用腫瘍学)。

さらに、人間の健康や病気について、人間集団の相互作用、環境問題、社会制度、予防などの観点からアプローチする社会医学系の科目も学びます(衛生学、公衆衛生学、法医学)。

なお、基礎医学コースから始まる医学専門科目は全科目必修であり、時間割も濃密です。



病理学の実習風景

EVENT



2年次学友会懇話会

4月初旬に基礎医学コース(2年次)進級ガイダンスがあります。医学部長の講話や医学専門課程に関するガイダンスののち、学友会懇話会が開催されます。

医学科生からのメッセージ

人体を知り、病気を知る。 制度を知り、医療を知る。

中村 恒星さん [6年生]
岐阜県立加納高等学校(岐阜県)卒業

2年次から始まる基礎医学コースでは、人体の正常機能をまず始めに学ぶことになります。病気は、正常な状態が破綻したときに生じるものなので、臨床医学コース前の重要な学びの期間になります。

基礎医学コースでは、解剖学や組織学で人体の構造を学び、生化学や生理学、免疫学で人体の機能を学びます。そしてその知識をもとに、病理学や薬理学で病気や薬と人体の関係性へと学びを深めていきます。「なぜ?」「どうして?」の素朴な疑問を大切に学んでいくことが次のステップに繋がります。

また、学問としての「医学」だけでなく、社会構造としての「医療」を学ぶことができることも本コースの大きな特徴です。衛生学や公衆衛生学や法医学の講義を通して、世の中と医学の接点を俯瞰し、医療という枠組みを学びます。様々な制度の上に成立する医療を学ぶことは、4年次以降の臨床実習において多くの視点を提供してくれます。

基礎医学コースの2年半の間に、じっくりと人と社会に向き合うことが深みのある医療者への成長に繋がるはずです。医学の専門分野を学ぶことができる喜びを噛み締め、臨床医学ではどんなことが学べるのだろうという期待感に胸を膨らませながら、充実した毎日を送ることができるでしょう。

